

# インクルーシブ コミュニティ

グループ 1

**01** インクルーシブ社会  
とは・子育てとは

**03** アンケート結果

**02** M先生インタビュー

**04** まとめ

# 01

インクルーシブ社会とは。

子育てとは。

# インクルーシブ社会とは

「インクルーシブ社会」をネットで調べると、

障害だけでなく、性別、年齢、国籍や宗教、文化などの多様性  
(ダイバーシティ)を認め合い、ともに暮らしていく社会

と、出てきます。

# インクルーシブ子育てとは

「インクルーシブ子育て」をネットで調べると、

インクルーシブとは、「全てを受け入れる」ということです。保育に置き換えて言うならば、日常生活においてさまざまな困難さや弱さを感じている子どもに対して「全ての子どもを受け入れる保育」を行うということです。

と、出てきます。



私たちは、こう考えました。

## 中高生の私たちにとって子育てとは...

- ・大人によって育てられるのではなく、  
自分の状況にあった環境に身をおくことで  
家族や友だち、その場で出会った人たちと共に育っていくこと。

## 私たちからの提案

1. イベントの開催やオンラインコミュニティを活用し、  
中高生にも開かれた福祉保健局へ
2. 学生が主体となって運営していくコミュニティ



**02**

M先生インタビュー

生徒の様子

知的障害と発達障害の子がいる。  
また、両方を併せ持つ子もいる。

・ 知的障害→勉強がわからないのが知的障害。

勉強ができないというよりは習得が遅いという感じ

・ 発達障害→勉強はできるが、コミュニケーションができない。

相手のことを考えられない・じっとしてられないなど

# 障害を持つ子供たちに使いやすくするには？

- 読み上げ機能

→あると便利だがめんどくさい・うるさいから実際は使っていない子が多い

- ひらがな入力

→ローマ字ができない子もいる

- フォントやゴシックの調整

→丸ゴシックなどだと見やすい

このスライドも視覚障害の方に見やすいよう色や字体を工夫して作成しています！

生徒が他の人と関わる時に気を付けていることは？

- 出来るだけ一人で行かせたいと思っている  
生徒が困ってしまった時だけ支援をするようにしている

## 放任主義

- 社会に出て行ったときに一人でもやっていけるように、通常級の生徒と同じように接する

# 子供たちにとって楽しいイベントや活動とは？

- ・ やったことのあるゲームはやりやすく、やり始めるのに抵抗がない
- ・ 友達と一緒にできると良い
- ・ 仲が良く一緒に話せる相手がいると良い  
(家族、兄弟、部活の友達など)



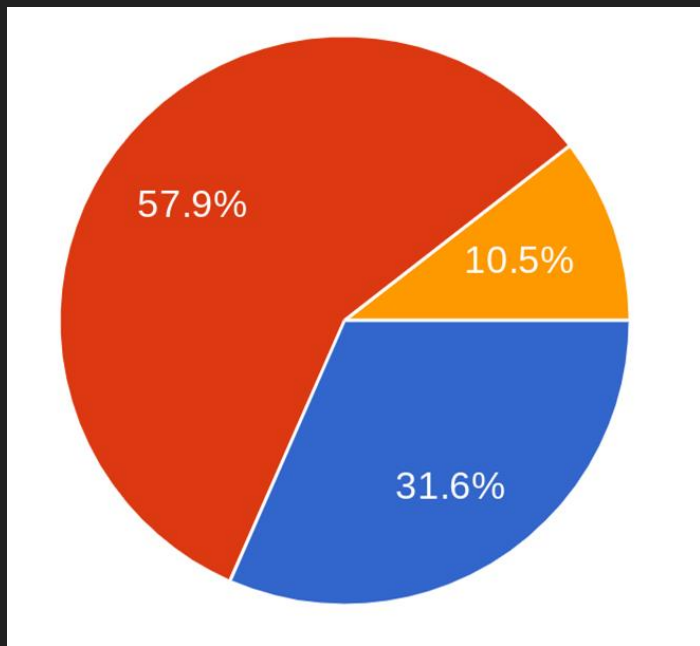
提案1. イベントの開催やオンラインコミュニティを活用し、  
中高生にも開かれた福祉保健局へ

- ・ 「誰もが参加できる」を強調したイベントの開催
- ・ LINEのオープンチャット等、  
中高生がアクセスしやすい悩み相談の場の提供

**03**

アンケート結果

## アンケート協力者割合



回答者全19名中

中学生：11人（57.9%）

高校生：6人（31.6%）

その他：2人（10.5%）



# 参加したコミュニティの数と感じたこと

参加したことのある コミュニティの数(団体)	感じたこと (個)
1	1.1
2以上	6.1

コミュニティに参加した経験を通して、  
あなたが感じたことをすべて選択してください。

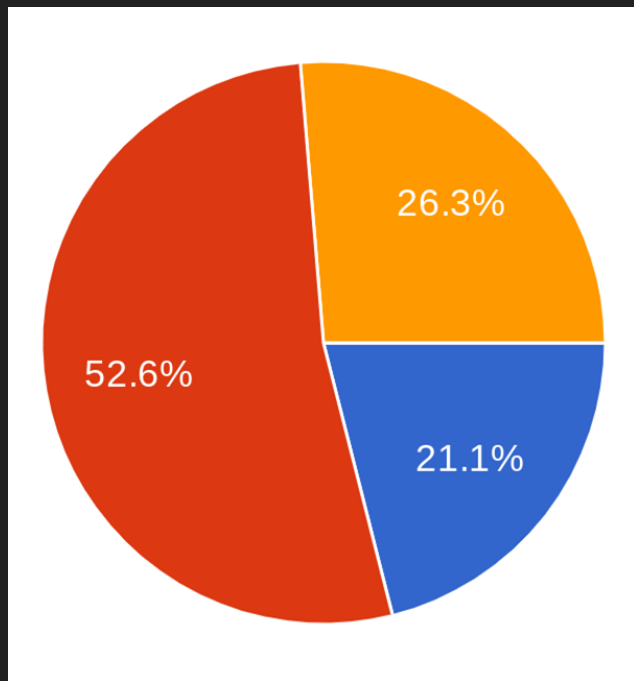
1位 他の視点や考え方に気づいた

2位 友だちが増えた

新しい情報や知識を得ることができた

3位 自信がついた

もしも学生運営のコミュニティがあれば活用したいと思いますか。



すごくそう思う：4人 (21.1%)

ややそう思う：10人 (52.6%)

あまりそう思わない：5人 (26.3%)

学生が運営するコミュニティであつたらいいなと  
思うものを教えてください。

- お年寄りや小さい子どもとの交流
  - 生物の保全につながるもの
    - 勉強を教えあう
  - 趣味について研究する

# 良いコミュニティを作るために

- ・ パソコンの貸出
- ・ 公式SNS
- ・ 集まれる場所の提供
- ・ 沈黙のない空気
- ・ 個人間で繋がれるシステム

「子育て」や「インクルーシブ社会」について、  
考えることや思うことを自由に書いてみてください。

- これからの社会においてインクルーシブというのは重要になってくる
- インクルーシブな社会になればより過ごしやすくなる
- 子育てについて漠然と大変そうという気持ちがある
- 認知があまりされていないと感じる
- インクルーシブな社会についてはいまいち意味が分からない

## 提案2.

学生が主体となって運営していく  
コミュニティの提案



04

まとめ



誰かのため、「私」のための  
インクルーシブ社会。

誰かを受け入れ  
自分も誰かに受け入れられることで  
インクルーシブな社会が作られるのではないのでしょうか。